

資 料 編

【資料】本校過去7年間(H24～R01)の生徒アンケート「奈高リサーチ」の結果

・値は% 「-」は質問なし

Q2. SSHの事業をうけて、科学や数学に対する興味・関心は深まりましたか

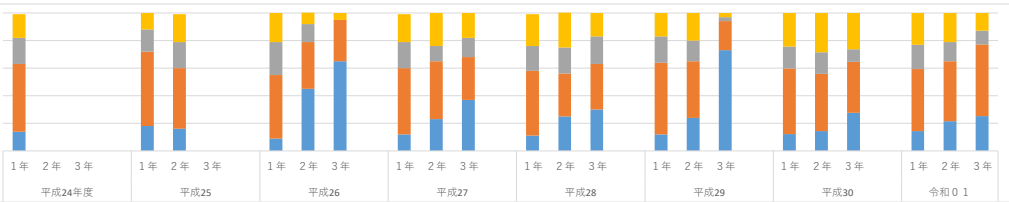
H29まで3年はSSHコースのみ実施

H30では全体

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
大いに深まった	14	-	-	18	16	-	9	45	65	12	23	37	11	25	30	12	24	73	12	14	28	14	21	25
どちらかというと深まった	49	-	-	54	44	-	46	34	30	48	42	31	47	31	33	52	41	21	48	42	37	45	44	52
どちらかというと深まらなかった	19	-	-	16	19	-	24	13	0	19	11	14	18	19	20	19	15	3	16	16	9	17	14	10
深まらなかった	17	-	-	12	20	-	21	9	5	20	24	18	23	26	17	17	20	3	24	29	26	23	21	13

興味・関心の深まり

- 深まらなかった
- どちらかというと深まらなかった
- どちらかというと深まった
- 大いに深まった

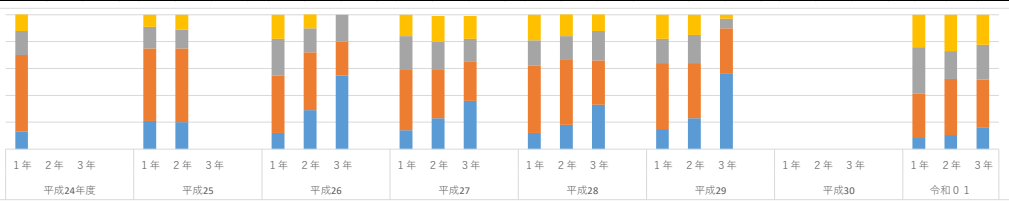


Q3. SSHの事業をうけて、先進的な研究分野に触れることが出来ますか

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
強く思う	13	-	-	21	20	-	12	29	55	14	23	36	12	18	33	15	23	56	-	-	-	8	11	16
どちらかと思う	57	-	-	54	55	-	43	43	25	45	36	29	50	49	33	49	41	34	-	-	-	33	42	36
どちらかと思うと思わない	18	-	-	16	14	-	27	18	20	25	21	17	19	17	22	18	21	7	-	-	-	34	21	26
思わない	13	-	-	9	11	-	18	11	0	16	19	17	19	17	13	18	15	3	-	-	-	24	27	22

先進的な研究分野に
触れることが出来るか

- 思わない
- どちらかと思うと思わない
- どちらかと思う
- 強く思う



Q4. SSHは、進路選択の参考になりましたか

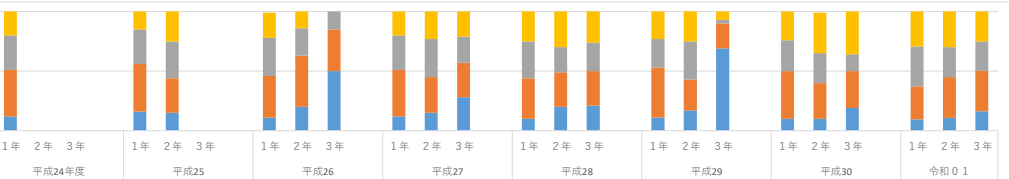
H29まで3年はSSHコースのみ実施

H30では全体

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
大いになった	12	-	-	16	15	-	11	20	50	12	15	28	10	20	21	11	17	69	10	10	19	9	11	16
どちらかというとなった	39	-	-	40	29	-	35	43	35	39	30	29	34	29	29	42	26	21	40	30	31	28	34	34
どちらかというとならなかった	29	-	-	29	31	-	32	23	15	29	32	22	31	21	24	24	32	3	26	25	14	33	25	25
ならなかった	20	-	-	15	25	-	21	14	0	20	23	21	26	30	26	23	25	7	24	34	36	30	30	25

進路選択の参考に
なったか

- ならなかった
- どちらかというとならなかった
- どちらかというとなった
- 大いになった

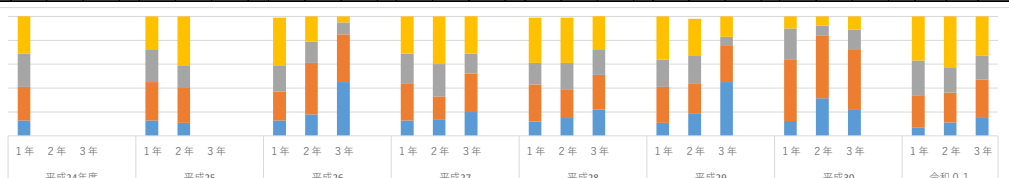


Q5. SSHの事業をうけて、将来、(科学の)研究者・開発者になりたいという気持ちは湧きましたか ()内は令和元年度から削除

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
大いに湧いた	13	-	-	13	11	-	13	18	45	13	14	20	12	15	22	11	19	45	12	31	22	7	11	16
どちらかという湧いた	28	-	-	32	29	-	24	43	40	31	19	32	31	24	29	30	25	31	51	53	50	27	25	31
どちらかという湧かなかった	28	-	-	27	19	-	22	18	10	25	27	17	18	22	21	23	23	7	26	8	17	29	21	20
湧かなかった	32	-	-	28	41	-	40	21	5	31	40	32	38	38	30	36	31	17	10	8	11	37	43	32

研究者・開発者に
なりたという気持ちは
湧いたか

- 湧かなかった
- どちらかという湧かなかった
- どちらかという湧いた
- 大いに湧いた

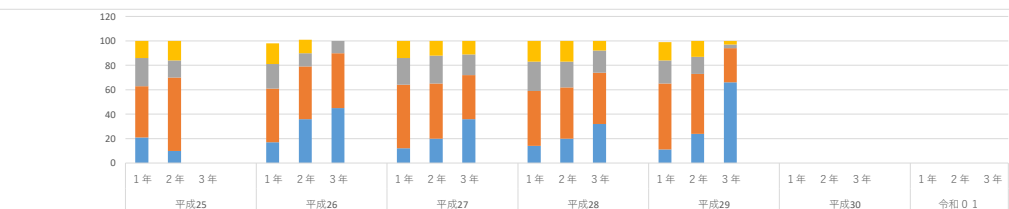


Q. SSP科目ではより高度な内容を学べたと思いますか

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
強く思う	-	-	-	21	10	-	17	36	45	12	20	36	14	20	32	11	24	66	-	-	-	-	-	-
どちらかと思う	-	-	-	42	60	-	44	43	45	52	45	36	45	42	42	54	49	28	-	-	-	-	-	-
どちらかと思うと思わない	-	-	-	23	14	-	20	11	10	22	23	17	24	21	18	19	14	9	-	-	-	-	-	-
思わない	-	-	-	14	16	-	17	11	0	14	12	11	17	17	8	15	13	3	-	-	-	-	-	-

より高度な内容を学べたか

- 思わない
- どちらかと思うと思わない
- どちらかと思う
- 強く思う

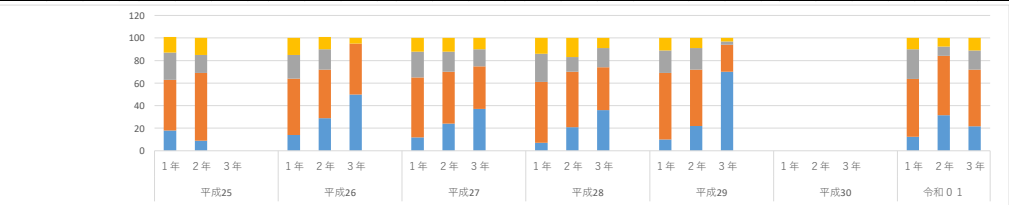


Q6. SSP科目・SSHに関する科目の内容は、満足いくものでしたか (令和元年からSSHに関する科目全体とした)

	平成24年度			平成25			平成26			平成27			平成28			平成29			平成30			令和01		
	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年	1年	2年	3年
強く思う	-	-	-	18	9	-	14	29	50	12	24	37	7	21	36	10	22	70	-	-	-	12	31	22
どちらかと思う	-	-	-	45	60	-	50	43	45	53	46	38	54	49	38	59	50	24	-	-	-	51	53	50
どちらかと思うと思わない	-	-	-	24	16	-	21	18	0	23	18	15	25	13	17	20	19	3	-	-	-	26	8	17
思わない	-	-	-	14	15	-	15	11	5	12	12	10	14	17	9	11	9	3	-	-	-	10	8	11

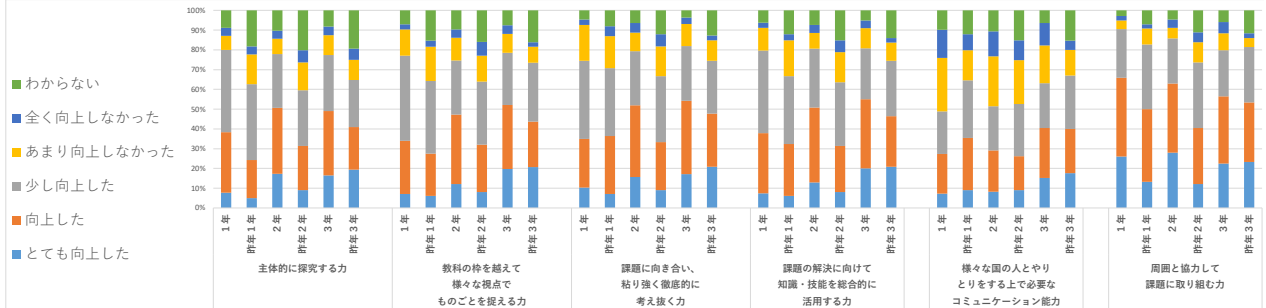
SSHに関する科目の内容は
満足いくものか

- 思わない
- どちらかと思うと思わない
- どちらかと思う
- 強く思う

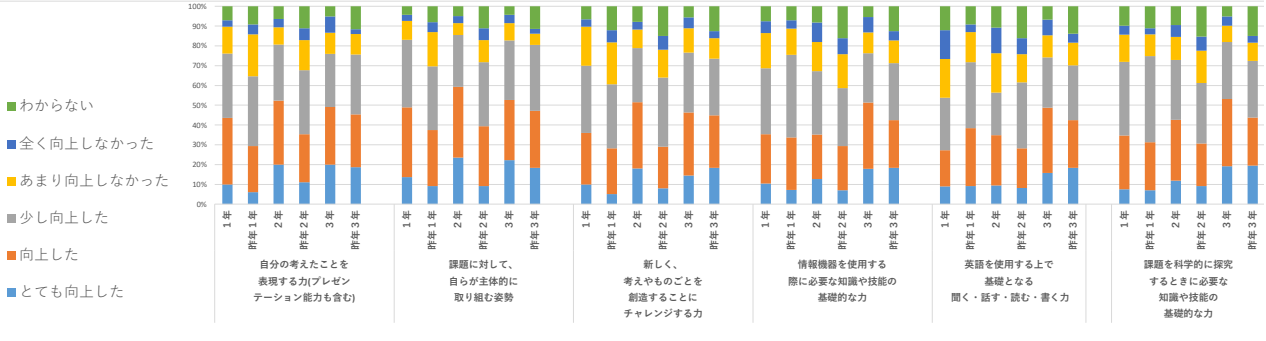


【資料】生徒アンケート「奈高生リサーチ」令和元年度の結果：目的とする力の伸長について

	主体的に探究する力				教科の枠を超えて様々な視点でものを捉える力				課題に向き合い、粘り強く徹底的に考え抜く力				課題の解決に向けて知識・技能を総合的に活用する力				様々な国の人とやりとりをする上で必要なコミュニケーション能力				周囲と協力して課題に取り組む力			
	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年
とても向上した	8	5	17	9	16	19			7	6	12	8	20	21			10	7	13	8	20	21		
向上した	31	19	33	22	33	22			27	21	35	24	33	23			25	29	36	24	37	27		
少し向上した	42	38	27	28	28	24			43	36	27	32	26	30			40	34	27	33	28	27		
あまり向上しなかった	7	15	8	14	10	10			13	17	12	13	10	8			18	16	9	15	11	10		
全く向上しなかった	4	4	4	6	4	6			3	3	4	7	4	2			3	5	5	6	3	2		
わからない	9	18	10	20	8	19			7	15	10	16	7	16			6	12	7	15	5	14		



	自分の考えたことを表現する力(プレゼンテーション能力も含む)				課題に対して、自らが主体的に取り組む姿勢				新しく、考えやものを創造することにチャレンジする力				情報機器を使用する際に必要な知識や技能の基礎的な力				英語を使用する上で基礎となる聞く・話す・読む・書く力				課題を科学的に探究するときに必要な知識や技能の基礎的な力			
	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年	1年	2年	3年	学年3年
とても向上した	10	6	20	11	20	19			14	9	24	9	22	18			10	5	18	8	14	18		
向上した	34	23	32	24	29	27			36	28	36	30	30	29			26	23	34	21	32	26		
少し向上した	82	35	28	32	27	30			34	32	26	32	30	33			33	41	32	29	26	29		
あまり向上しなかった	14	21	9	15	11	10			9	17	6	11	9	6			20	21	9	14	12	10		
全く向上しなかった	3	5	4	6	8	2			3	5	4	6	4	2			4	6	4	7	5	3		
わからない	7	9	6	11	6	12			4	8	6	11	4	11			7	12	8	15	8	13		



Q19 SSH事業に関しての要望等

＜2年生SSHクラス＞

- ・大学などの機関と共同研究したい。
- ・研究器具の購買手続きをもっと簡易化して、短期間で新しい研究ができるようにして欲しい。
- ・郊外に出る機会をもっと増やして欲しい。
- ・シンガポール研修の時期を、夏ではない時期にして欲しい。(部活動の試合とかぶらない時期や、3年に上がる春休みの間等にして欲しい。)
- ・ネイティブな外国語に触れる機会をもっと欲しい。
- ・実験器具などをもっと充実させて欲しい。

＜3年生SSHクラス＞

- ・外国の人と実際にコミュニケーションをする機会を増やして欲しいし、ネイティブな英語に触れる機会が欲しい。
- ・SSHの活動で新しいPCが使えるようにして欲しい。現在のPCは動作が遅く使いづらい。性能が低いものがあり、時間が余分にかかる。
- ・校内で研究の成果を発表する機会をもっと設けて欲しい。
- ・大学の施設を使いたい。
- ・サイエンスツアー一定員の拡大をして欲しい。

＜上記以外のクラス＞

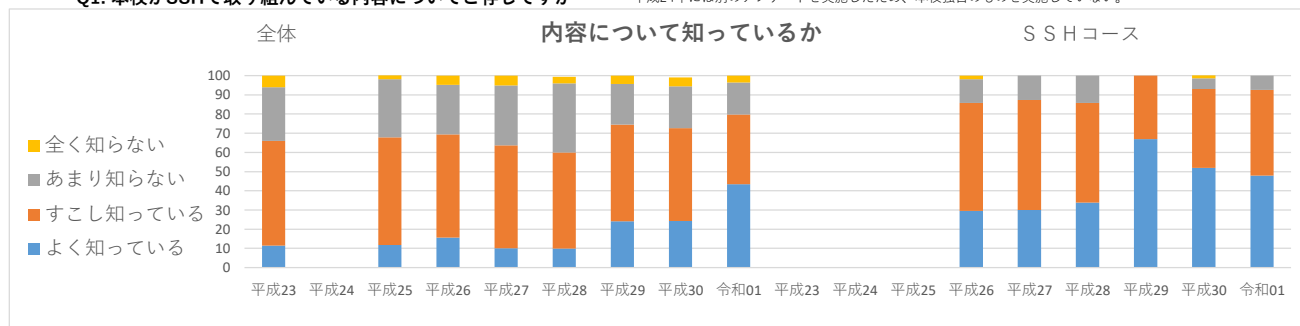
- ・研究所を見に行き研究内容を聞かせてもらえる機会を増やして欲しい。
- ・科学英語をもっと充実して欲しい。
- ・夏休み期間の1日等、時間をとって希望者に探究的な講座を開いて欲しい。
- ・もっといろいろな職業の人の話を聞く機会を増やして欲しい。
- ・SSP講演会を全員聞かなければならないなら、もう少し文系向きの幅広い分野の内容も取り扱って欲しい。
- ・気軽に参加できる科学・数学分野の講義などがあればよいと思う。
- ・もっと文理関係なく、研究やイベントに関われるようにして欲しい。
- ・サイエンスツアーの参加枠がもっとあればよいと思う。
- ・単位数を増やし2教科ES科目を選べるようにして欲しい。もう少し活動も増やして欲しい。
- ・奈良タイムでもう少し別のことがしたい。
- ・放課後等に、気軽に参加できるものが増えればよいと思う。
- ・自分が興味があるものを選択できる講演会(2学期にあった)を、定期的にやって欲しい。
- ・人文科学も充実して欲しい。
- ・校外でできるものを増やして欲しい。
- ・あまり負担を多くしないで欲しい。

【資料1】本校過去9年間(H23～R01)のSSH保護者アンケートの結果<抜粋>

・値は%、「-」は質問なし

Q1. 本校がSSHで取り組んでいる内容についてご存じですか

・平成24年には別のアンケートを実施したため、本校独自のものを実施していない。



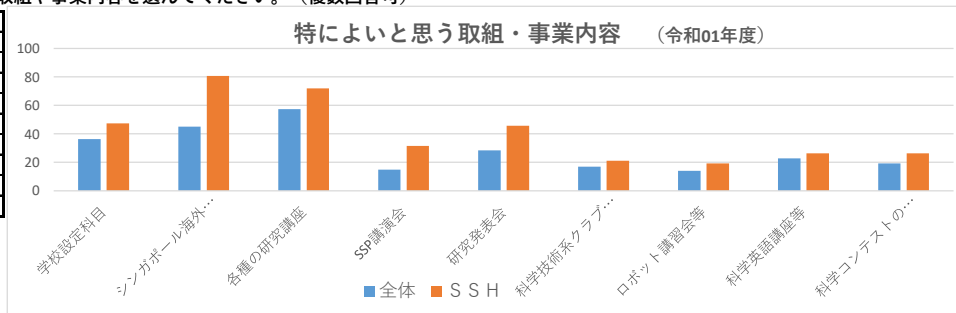
Q3. 奈良高校がSSH事業の指定を受けていることは、学校の教育活動にとってよいことだと思いますか

(平成23年以前は 望ましいと思いますか)

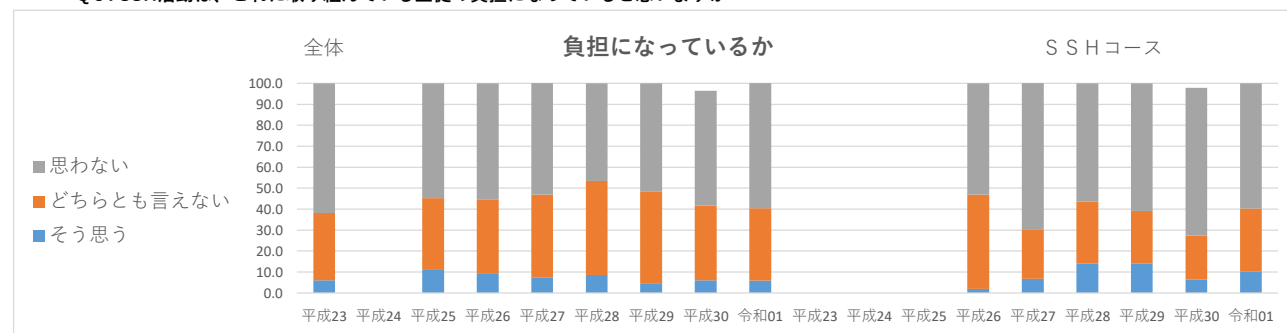
	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
	全体									SSHコース								
そう思う	97.9	-	98	99.5	99.6	97.7	96.8	96.8	96.8	-	-	-	100	100	100	100	96.7	100.0
思わない	2.1	-	2.1	1.5	1.4	2.3	3.2	3.2	3.2	-	-	-	0	0	0	0	3.3	0.0

Q4-1. 特によいと思われる取組や事業内容を選んでください。(複数回答可)

令和01年	全体	SSH
学校設定科目	36.32	47.4
シンガポール海外研修	45.01	80.7
各種の研究講座	57.29	71.9
SSP講演会	14.83	31.6
研究発表会	28.39	45.6
科学技術系クラブ活動	16.88	21.1
ロボット講習会等	14.07	19.3
科学英語講座等	22.76	26.3
科学コンテストの取組	19.18	26.3

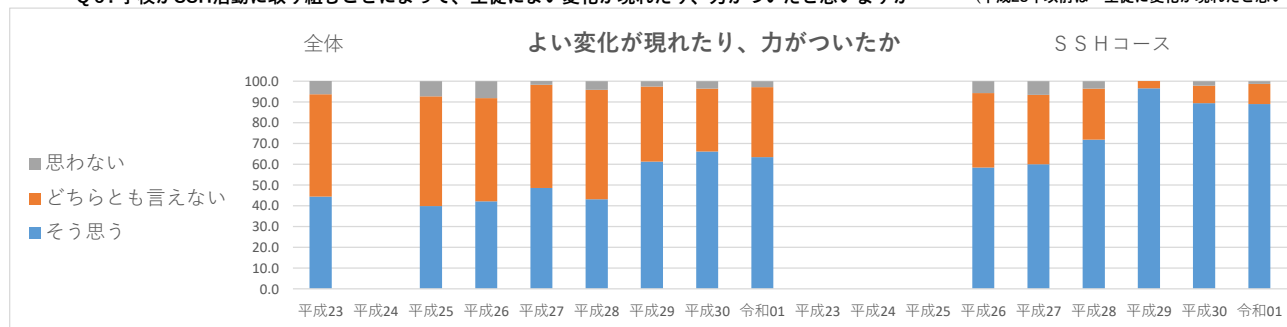


Q5. SSH活動は、これに取り組んでいる生徒の負担になっていると思いますか



Q6. 学校がSSH活動に取り組むことによって、生徒によい変化が現れたり、力がついたと思いますか

(平成28年以前は 生徒に変化が現れたと思いますか)

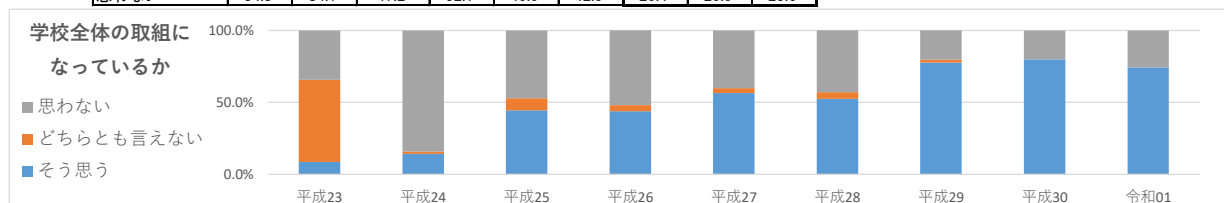


【資料2】本校過去9年間(H23～R01)のSSH職員アンケートの結果<抜粋>

・値は%、「-」は 質問なし

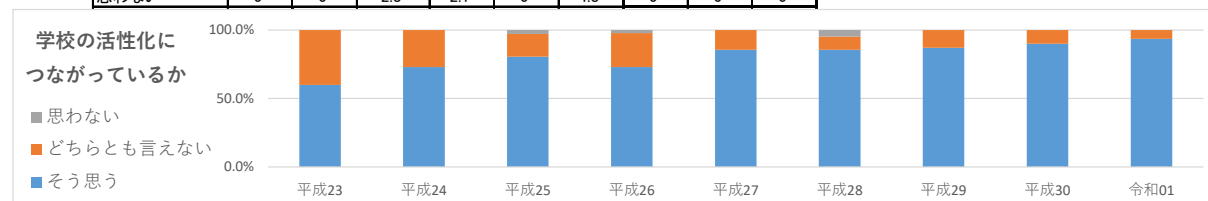
Q3. 本校のSSH事業は、学校全体の取組になっていますか

	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
そう思う	8.6	14.3	44.4	43.8	56.4	52.4	77.8	80.0	74.4
どちらとも言えない	57.1	1.6	8.4	4.2	3.6	4.8	1.9	0	0
思わない	34.3	84.1	47.2	52.1	40.0	42.9	20.4	20.0	25.6



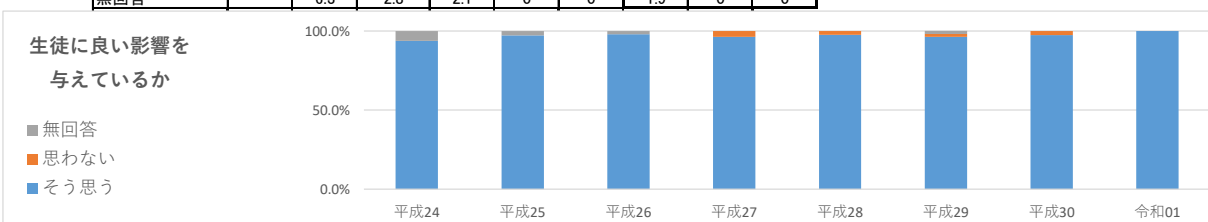
Q4. SSH活動は、学校の活性化につながっているか

	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
そう思う	60.0	73.0	80.5	72.9	85.5	85.7	87.0	90.0	93.5
どちらとも言えない	40.0	27.0	16.7	25.0	14.5	9.5	13.0	10.0	6.5
思わない	0	0	2.8	2.1	0	4.8	0	0	0



Q5. 本校のSSH事業は、生徒に良い影響を与えていると思いますか

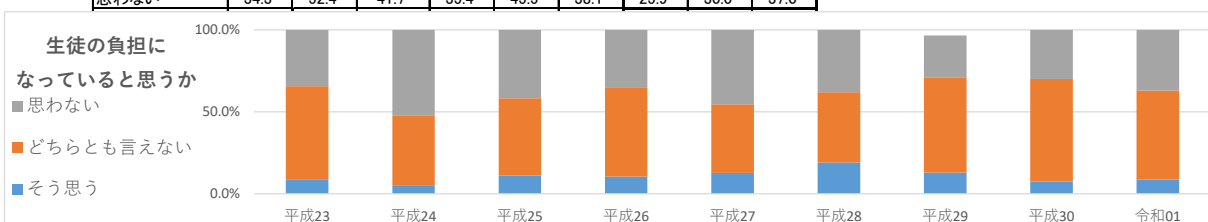
	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
そう思う	-	93.7	97.2	97.9	96.4	97.6	96.3	97.5	100
思わない	-	0	0	0	3.6	2.4	1.9	2.5	0
無回答	-	6.3	2.8	2.1	0	0	1.9	0	0



Q7. SSH活動は、これに取り組んでいる生徒の負担になっていると思いますか

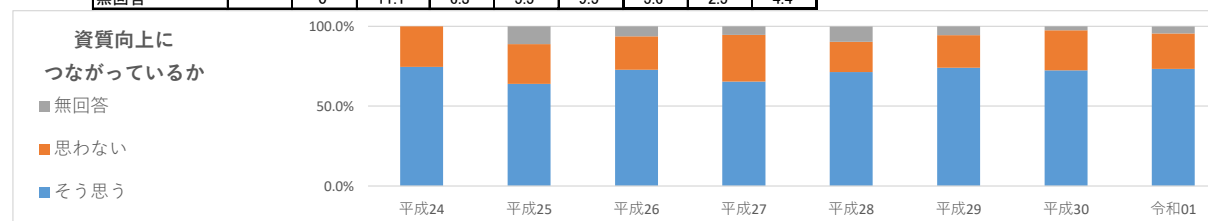
H29無回答7.4%

	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
そう思う	8.6	4.8	11.1	10.4	12.7	19.0	13.0	7.5	8.7
どちらとも言えない	57.1	42.8	47.2	54.2	41.8	42.9	57.7	62.5	54.3
思わない	34.3	52.4	41.7	35.4	45.5	38.1	25.9	30.0	37.0



Q11. 本校のSSH事業は、あなたの教員としての資質の向上につながっていますか

	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30	令和01
そう思う	-	74.6	63.9	72.9	65.5	71.4	74.1	72.5	73.3
思わない	-	25.4	25.0	20.8	29.1	19.0	20.4	25.0	22.2
無回答	-	0	11.1	6.3	5.5	9.5	5.6	2.5	4.4



令和元年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会アンケート(生徒)

2. 今回の発表会を通して、新たな知識を身につけることができましたか？ (%)

全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
4.4	2.2	9.9	29.7	53.8	0

3. 今後の学習に対する刺激を受けましたか？ (%)

全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
7.8	2.2	6.7	33.3	50	0

4. 満足のいくものでしたか？ (%)

全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
6.9	5.7	4.6	43.7	39.1	0

5 それぞれの発表についてお聞きします。 (%)

①ポスター発表

	全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
内容には、興味がもてましたか？	3.5	4.7	16.3	24.4	51.2	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	4.7	4.7	22.1	31.4	37.2	0

② SSP理数「階段状のドミノの転倒波～群集事故への応用～」

内容には、興味がもてましたか？	4.4	2.2	5.6	40	47.8	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	6.7	8.9	15.6	33.3	35.6	0

③ SSP理数「ポリピロール生成時の変色を探る」

内容には、興味がもてましたか？	6.5	15.2	18.5	29.3	30.5	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	6.5	9.8	28.3	26.1	29.3	0

④ SSP理数「試薬の条件変化と化学発光の関係」

内容には、興味がもてましたか？	6.5	9.8	15.2	31.5	37	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	8.8	9.9	31.9	29.7	19.8	0

⑤ SSP理数「砂漠での海水の淡水化」

内容には、興味がもてましたか？	4.3	2.2	4.3	19.6	69.6	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	3.3	3.3	6.6	30.8	56	0

⑥ 物理部「反射波の比較による開口端反射の実態」

内容には、興味がもてましたか？	4.3	9.8	18.5	29.3	38.1	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	4.3	6.5	22.8	38	28.4	0

⑦ 化学部「炎の色の並び方 炎色反応の規則性Ⅲ」

内容には、興味がもてましたか？	5.4	7.6	14.1	28.3	44.6	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	5.4	8.7	15.2	40.3	30.4	0

⑧ 生物部「40年間の奈良県河川の水質変化」

内容には、興味がもてましたか？	4.3	8.7	20.7	38	28.3	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	5.4	8.7	17.4	35.9	32.6	0

6 口頭発表者、および、ポスター発表者にお聞きします。 (%)

今回の発表会を通して、プレゼンテーション能力は高まったと思いますか？

全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
6	3.6	12	39.8	38.6	0

令和元年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会アンケート(来賓・保護者)

1 それぞれの発表についてお聞きます。

(%)

①ポスター発表

	全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
内容には、興味がもてましたか？	0	0	7.9	31.6	60.5	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	0	14.7	35.3	50	0

② SSP理数「階段状のドミノの転倒波～群集事故への応用～」

内容には、興味がもてましたか？	0	0	13.3	53.3	33.3	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	0	30.8	38.5	30.8	0

③ SSP理数「ポリピロール生成時の変色を探る」

内容には、興味がもてましたか？	7.7	0	23.1	38.5	30.8	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	7.1	14.3	42.9	35.7	0

④ SSP理数「試薬の条件変化と化学発光の関係」

内容には、興味がもてましたか？	0	6.7	0	60	33.3	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	0	6.3	68.8	25	0

⑤ SSP理数「砂漠での海水の淡水化」

内容には、興味がもてましたか？	6.3	6.3	0	18.8	68.8	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	6.3	6.3	50	37.5	0

⑥ 物理部「反射波の比較による開口端反射の実態」

内容には、興味がもてましたか？	7.7	0	38.5	23.1	30.8	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	7.1	0	21.4	42.9	28.6	0

⑦ 化学部「炎の色の並び方 炎色反応の規則性Ⅲ」

内容には、興味がもてましたか？	7.7	0	23.1	30.8	38.5	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	7.7	15.4	30.8	46.2	0

⑧ 生物部「40年間の奈良県河川の水質変化」

内容には、興味がもてましたか？	0	0	11.1	33.3	55.6	0
発表内容がしっかり伝わりましたか？	0	0	12.5	37.5	50	0

2 今回の生徒研究発表会の時間帯は、適切でしたか？

(%)

	全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
	3.4	0	10.3	41.4	44.8	0

3 今回の生徒研究発表会の会場は、適切でしたか？

(%)

	全く思わない	あまり思わない	どちらとも言えない	やや思う	非常に思う	未回答
	3.4	3.4	20.7	27.6	44.8	0

科学技術人材育成重点事業アンケート(数値は%)

<ロボット講習会、ハイレベルロボット講習会>

(2019. 5月実施)

①午前中のHT社カラーセンサー導入実習について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	81.8	13.6	4.5	0	0
新しい発見・知識	68.2	27.3	0	4.5	0
今後活かせるか	72.7	18.2	4.5	4.5	0
満足か	63.6	31.8	0	4.5	0
時間は適切か	40.9	40.9	9.1	9.1	0

②午後の他言語導入の質問会について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	77.8	11.1	5.6	5.6	0
新しい発見・知識	44.4	50.0	0	5.6	0
今後活かせるか	33.3	44.4	11.1	11.1	0
満足か	50.0	27.8	16.7	5.6	0
時間は適切か	38.9	33.3	11.1	11.1	0

(2019. 6月 2回実施)

①6月2日、プログラミング実習について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	92.9	7.1	0	0	0
新しい発見・知識	89.3	8.9	1.8	0	0
今後活かせるか	87.5	12.5	0	0	0
満足か	82.1	16.1	1.8	0	0
時間は適切か	53.6	26.8	12.5	7.1	0

②競技大会に向けたプログラミング実習について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	94.6	5.4	0.0	0	0
新しい発見・知識	87.5	5.4	7.1	0	0
今後活かせるか	89.3	10.7	0	0	0
満足か	69.6	19.6	8.9	1.8	0
時間は適切か	37.5	26.8	19.6	16.1	0

③6月15日、プログラミング講習及び実習について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	85.7	14.3	0	0	0
新しい発見・知識	85.7	14.3	0	0	0
今後活かせるか	71.4	14.3	14.3	0	0
満足か	100.0	0.0	0	0	0
時間は適切か	42.9	57.1	0.0	0	0
友達を誘いたい	28.6	28.6	42.9	0	0

<西はりま天文台・SPring-8・IFReC研究講座> (2019. 7～8月実施)

①西はりま天文台

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	64.5	19.4	16.1	0	0
内容に興味をもてた	64.5	25.8	6.5	0	3.2
もっと知りたい	64.5	25.8	6.5	3.2	0
高度な内容	54.8	22.6	19.4	3.2	0

②SPring-8

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	51.6	35.5	12.9	0	0
内容に興味をもてた	51.6	29.0	16.1	0	3.2
もっと知りたい	48.4	29.0	16.1	6.5	0
高度な内容	74.2	22.6	0.0	3.2	0

③IFReC(大阪大学免疫学フロンティア研究センター)

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	53.3	30.0	16.7	0	0
内容に興味をもてた	56.7	23.3	13.3	6.7	0
もっと知りたい	53.3	20.0	16.7	10.0	0
高度な内容	83.3	13.3	3.3	0	0

<パイソン講座> (2019. 10月実施)

①午前の講義・実習「google colaboratoryでのプログラミング」について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	88.9	11.1	0	0	0
新しい発見・知識	100	0	0	0	0
今後活かせるか	88.9	11.1	0	0	0
満足か	88.9	11.1	0	0	0
時間は適切か	77.8	11.1	11.1	0	0

②午後の講義・実習「Visual studio codeを用いたEV3へのプログラミング」について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	100	0	0	0	0
新しい発見・知識	88.9	11.1	0	0	0
今後活かせるか	88.9	11.1	0	0	0
満足か	77.8	22.2	0	0	0
時間は適切か	44.4	55.6	0	0	0

<JAXA研究講座> (2019. 7～8月実施)

①JAXA

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	89.7	10.3	0	0	0
内容に興味をもてた	86.2	10.3	3.4	0	0
もっと知りたい	86.2	6.9	6.9	0	0
高度な内容	58.6	6.9	10.3	20.7	3.4

③サイバーダイナミクス

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	73.3	23.3	3.3	0	0
内容に興味をもてた	80.0	16.7	3.3	0	0
もっと知りたい	56.7	40.0	3.3	0	0
高度な内容	53.3	23.3	10.0	10.0	3.3

⑤NIMS(物質・材料研究機構)

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	85.7	7.1	7.1	0	0
内容に興味をもてた	67.9	32.1	0	0	0
もっと知りたい	57.1	35.7	7.1	0	0
高度な内容	55.6	29.6	7.4	3.7	3.7

②KEK(高エネルギー加速器研究機構)

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	50.0	33.3	13.3	0	3.3
内容に興味をもてた	46.7	36.7	13.3	0	3.3
もっと知りたい	46.7	33.3	16.7	3.3	0
高度な内容	83.3	13.3	0	3.3	0

④地質標本館

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	70.0	20.0	6.7	3.3	0
内容に興味をもてた	63.3	30.0	0	6.7	0
もっと知りたい	53.3	36.7	3.3	6.7	0
高度な内容	30.0	23.3	30.0	13.3	3.3

⑥簡易宇宙飛行士体験

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研修がよかった	30.0	50.0	13.3	3.3	3.3
内容に興味をもてた	36.7	50.0	13.3	0	0
もっと知りたい	50.0	33.3	13.3	3.3	0
高度な内容	26.7	20.0	23.3	20.0	10.0

<まほろばけいはんなサイエンスフェスティバル> (2019. 11月実施)

①講演「血液の流れを診る」 東京大学生産技術研究所 大島 まり 教授

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	35.2	46.2	16.5	2.2	0
新しい発見・知識	45.1	37.4	14.3	3.3	0
今後活かせるか	35.2	44.0	17.6	3.3	0
満足か	46.2	39.6	11.0	3.3	0

③会場について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
満足か	52.1	32.8	11.8	2.5	0.8

②中高生によるポスターセッションの内容について

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
興味をもてたか	64.2	30.8	5.0	0	0
新しい発見・知識	62.2	31.1	5.0	1.7	0
今後活かせるか	59.7	31.9	8.4	0	0
満足か	63.9	27.7	5.9	2.5	0

<チャレンジ高度研究講座>

【フィールド編】(2019. 6月実施)

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講義がよかった	66.7	23.8	9.5	0	0
実習がよかった	85.7	14.3	0	0	0
内容に興味をもてた	90.5	9.5	0	0	0
もっと知りたい	85.7	14.3	0	0	0
高度な内容だった	47.6	38.1	14.3	0	0
新しい発見や新たな知識を得た	85.7	14.3	0	0	0
今後の活動に活かしたい	90.5	9.5	0	0	0

【企業編】(2019. 8月実施)

①地球環境産業技術研究機構(RITE)

	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研究がよかった	68.8	31.3	0	0	0
内容に興味をもてた	81.3	18.8	0	0	0
もっと知りたい	81.3	18.8	0	0	0
高度な内容	62.5	37.5	0	0	0

②オムロン株式会社京阪奈 イノベーションセンター

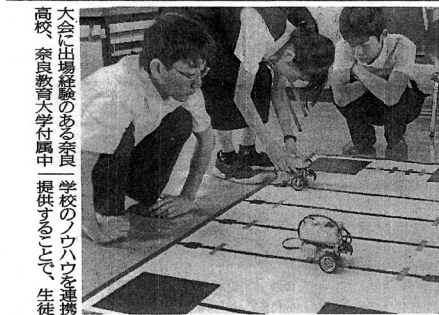
	非常に 思う	やや思 う	どちらとも言 えない	あまり思 わない	全く思 わない
講演・研究がよかった	100	0.0	0	0	0
内容に興味をもてた	80.0	20.0	0	0	0
もっと知りたい	80.0	20.0	0	0	0
高度な内容	66.7	33.3	0	0	0

奈良高でロボコンプログラミング講習会

目指せ大会、生徒ら交流

奈良

県内の中学、高校がロボコンコンテストの国際大会 WRO(ワールド・ロボコン・オリエンタール)のミドル競技(国内大会では初級から中級にかけてのプログラミングを学ぶ講習会)が2日、奈良市法蓮町の県立奈良高校視聴室で開かれ、同校と連携6校の計7校の生徒45人が参加した。



プログラミングしたロボットを作動させる生徒たち＝2日、奈良市法蓮町の県立奈良高校視聴室

交流を促進し、サイエンスネットワークの拡充を図るのが狙い。この日は、同付属中学校の葉山泰三教諭と昨年の WROで県大会と全国大会で優勝して、国際大会でも6位に入賞した同付属中学校出身で奈良高校3年生の井上信太郎さん(17)が講師を務めた。葉山教諭が国際大会の概要などを説明し、「本日は最低限必要なことを学んでもらうので、十分理解してそれぞれの学校に帰ってから学びを深めほしい」と助言。次いで井上さんが、「できるだけノウハウを

「できるだけノウハウを

奈良高と県、京都のSSH連携校

科学通じ広がる交流

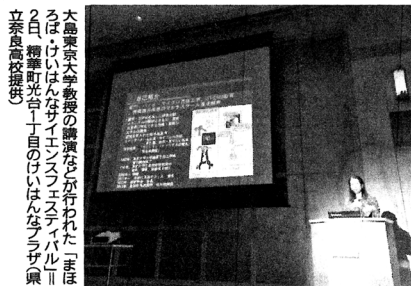
授業の研究内容など説明

文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール(SH)の指定を受ける県立奈良高校、奈良市法蓮町、中野善久校長が、SSHの連携校から奈良、京都両府県の中学、高校と取り組

む「まほろば・けいはんなサイエンスフェスティバル」が2日、精華町光台1丁目のけいはんなプラザで開かれた。学研都市の企業、研究機

トークで「AI技術の基礎の基礎」などの講演が行われ、午後は循環系疾患などの研究に取り組む東京大学生産技術研究所の大島まり教授が「血液の流れを診る」

と題して講演した。また参加各校のボスティーセッションがあり、高校・中学生在授業やクラブ活動で取り組む研究内容について来場者に説明。奈良高校化学部の則包栄太郎長(2年生)、樋口帆乃香さん(同)、浜田幸汰さん(同)の3人が「炎の色の並び方」をテーマに、レインボークレンドルの炎の色の法則性について仮説を立て、研究内容を披露した。



大島東京大学教授の講演が示された「まほろば・けいはんなサイエンスフェスティバル」2日、精華町光台1丁目のけいはんなプラザ(県立奈良高校提供)

技術の人材育成につながるのが目的で、同プラザで開催中の「けいはんな情報通信フェア2019」に合わせて実施。今回が9回目。午前中は、国立研究開発法人情報通信機構(NICT)主催によるサイエンス

1年間の成果披露

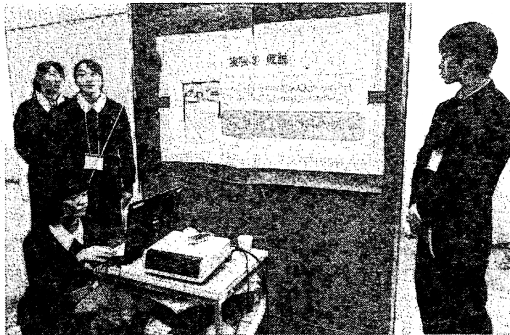
奈良高SSH
研究発表会 代表ら40組が参加

文部科学省の「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定を受け、

先進的な理数教育を実践する県立奈良高校(奈良市法蓮町、中野善久校長)は15日、精華町光台1丁目のけいはんなプラザで生徒研究発表会を開いた。

科学技術分野をリードするグローバル人材の育成を目的とした制度で、学習指導要領によらないカリキュラムの開発、実践などができる。

発表会は校内で選ばれた代表グループが参加。学校設定科目「SP(スーパーサイエンスプログラム)理数A」の研究グループと



ポスターセッションで発表する生徒ら＝15日、精華町光台1のけいはんなプラザ

科学技術系の3クラブの計7組は大学教員や生徒、保護者らに向けて、1年間の研究成果を発表した。うち1組は8月に開かれる全国SSH生徒研究発表会に同校代表として出場する。

また1、2年生の計33組はポスターやパワーポイントを使って発表。2年5人で水質浄化や土壌改良などに利用されている納豆菌の性質や日常生活での新たな活用を研究した辻内杏奈さ

ん(17)は「みんなで意見を出し合い、考える過程が楽しかった。発表により今後につながる意見ももらったので良かった」と話していた。



繋ぐ歴史 受け継ぐ伝統
未来に向かう創造力を